

授業科目 総合ゼミ

【担当教員名】 永井 洋一(代表)	対象学年	4	対象学科	理学・作業・言語・栄養・スポ・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

本科目はOOLサポーターとしての専門職への円滑な導入を主たる目的として設定されている。
この目的を実現するために、異なる学科の学生が協働して、お互いの専門性、志向性を考慮しながら課題への取り組みを行い、対象者（対象患者）の真のニーズを探ることを習得する。このゼミ活動を通して学生は他職種の専門性、志向性を知り、連携の重要性を知ることを目指す。
さらに、対象者のOOLの向上を支えるためには異なる専門職との密接な連携が必要であることを理解し、地域における社会資源や専門職および専門機関（医療、保健、福祉）のネットワークの重要性と構築の必要性を理解し、地域社活動の意義、実践ができることを第2の目標とする。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- 1 対象への評価を実施できる
- 2 他職種の専門性、志向性に基づいた評価と自らの差異を識別できる。
- 3 対象（者）への評価結果を説明できる。
- 4 他学科の学生と検討して対象者のニーズを抽出できる。
- 5 検討結果に基づき、協働して対象へのアプローチを企画できる
- 6 対象者のニーズに対する他職種のアプローチの特徴を指摘できる。
- 7 支援計画に対象（者）の意見を反映させることの重要性を指摘できる。
- 8 他学科の学生と検討した支援策を効果的に発表できる。

回数		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション ゼミの進行および各職種の評価方法の例示	1, 2	各学科担当教員
2	対象・事例の紹介、評価計画の立案、評価の実施	2, 3	"
3	評価の実施	1, 2, 3	"
4	他学科学生との検討会	4, 5, 6, 7	"
5	同上	4, 5, 6, 7	"
6	発表準備	4, 5, 6, 7	"
7	発表	8	"
8	同上	8	"

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特に定めず			
参考書	特に定めず			
その他の資料	DVD、ビデオ等 事例のシナリオ			
【評価方法】	出席 発表内容 評価内容 討議内容		【履修上の留意点】	